

# 施策・主な取組シート

基本方向	(5) まちの快適・うるおい空間づくり	基本政策	5) 自然環境の保護・環境の保全	
<b>(1) 施策</b>				
名称	<b>39 自然環境の保護</b>			
目標	貴重な生物の生息地である自然環境の保護に努めるとともに、次世代に良好な自然環境を引き継ぐことをめざします。			
現状と課題	<p>本市の自然は、様々な環境を有しており、生物多様性を維持するうえで好適な条件がそろっています。とりわけ、小櫃川河口から広がる盤洲干潟は、東京湾に現存する最大級の自然干潟であり、絶滅危惧種をはじめとした様々な生物の生息地域となっているため、「千葉県自然環境保全地域」の指定に向けて、市民や漁業関係団体等の理解を得る必要があります。</p> <p>また、特定外来生物などの外来種による被害が、生活環境や在来種の生態系へと広がっているため、自然環境保護や鳥獣の管理・保護を図るための事業展開が求められています。</p>			
課題解決の方向性	<p>盤洲干潟を保全し、絶滅危惧種等の生息環境を維持するため、市民団体、企業、関係機関が一体となっていく、海岸のクリーン作戦を支援します。</p> <p>自然環境の保護や鳥獣を管理・保護するため、特定外来生物等の捕獲を支援します。</p>			
<b>(2) 主な取組</b>				
No.1	名称	自然環境の保全		
	担当課	環境管理課		
	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>小櫃川河口干潟の保全活動をしているボランティア団体の清掃活動を支援し、引き続き遊歩道の整備に取り組みます。</li> <li>環境保全に取り組む市民団体の活動等を紹介し、より多くの方々に自然環境の大切さを啓発します。</li> <li>特定外来生物等を捕獲するため、箱わなの貸出しを行います。</li> </ul>		
施策目標の実現に関する指標	指標	現状値 (H30)	目標値 (H34)	設定の考え方
	箱わなの貸出数	56件 (H29年度値)	72件	箱わなの貸出数を増やすことは、特定外来生物の捕獲・処分数の増加につながり、特定外来生物による生活環境や生態系への影響を防止するのに有効であるため。目標値の設定については、近年、特定外来生物の処分数が増加傾向にあるのでそれに対応するため。